

12月14日に8人が一般質問をしました。

一般質問とは…議員が村長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など、諸問題について報告や説明を求めたり、質問したりすることをいいます。

一般質問項目一覧表

- ①中山 恵美賀 議員 …………… 5ページ
 - 1. 子育て支援 使用済み紙おむつの持ち帰り廃止を
 - 2. 特産のネギを使ったコロッケの商品化の現状は
 - 3. 買い物不便者の対応をどうお考えか
- ②小川 政徳 議員 …………… 6ページ
 - 1. 防犯、交通安全対策は
 - 2. 防災、避難対策は
 - 3. コロナ禍不遇世代への支援を
- ③伊藤 豊 議員 …………… 7ページ
 - 1. 放課後学習支援
 - 2. コロナ禍による健康寿命への影響
- ④上田 光彦 議員 …………… 8ページ
 - 1. 教育長の施策を聞く 教員の働き方改革は
 - 2. 避難所のペットの受け入れ体制は
- ⑤鈴木 康祐 議員 …………… 9ページ
 - 1. 通学の見守りは
 - 2. 県道境政成新田蟹江線の拡幅、歩道設置の進捗状況は
 - 3. 水道の基本料金の補助はできないのか
- ⑥橋本 渉 議員 …………… 10ページ
 - 1. 多くの人が就学支援制度を受けやすくせよ
 - 2. 高齢者の補聴器購入に補助せよ
- ⑦伊藤 秀樹 議員 …………… 11ページ
 - 1. 飛島で生まれ育った子どもが飛島に住めるのか
 - 2. 通学交通費の補助を求む
 - 3. 学園の制服を見直す予定はあるのか
 - 4. 家庭でリモート授業が受けられるか
 - 5. 高齢者の買い物支援策は？シニアカーに補助を
- ⑧八木 敏一 議員 …………… 12ページ
 - 1. 補助金行政を問う
 - 2. 教育行政を問う

ズバリ!!
村政を問う



中山恵美賀 議員



おむつバケツ(第一保育所)

Q 子育て支援 使用済み紙おむつの 持ち帰り廃止を

A 前向きに検討する

○村長

近年、使用済み紙おむつの持ち帰り廃止に移行している自治体が増え、近隣の市町においても施設での回収を始めていますと聞いています。

本村におきましても、児童の健やかな育ちを支援する保育環境を考えたから、関係機関と必要な調整を進め、前向きに検討します。

○議員

保育施設が必要な分のおむつを業者に発注し、業者から直接保育施設におむつが届けられる、おむつのサブスク、手ぶらでの登園があるが、県内でも実証実験をされている市がある。子育てを支援する保護者の負担、現場の保育士の負担の面から、こちらもお願ひします。

○議員
近年、使用済み紙おむつの持ち帰りをやめる自治体が増え、園が廃棄するところが増えてきている。保護者の負担面、衛生面、保育士の負担面の問題から本村も使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止してはどうか。



加藤光彦 村長

Q 特産のネギを使った コロッケの商品化の 現状は

A とびしまルシェでの 販売を予定する

○企画課長

商品名は未定ですが、「塩豚ネギコロッケ」と「ネギクリームコロッケ」を開発中です。

○議員

キッチンカーの導入は、非常時にバックアップになるのではないのでしょうか。

○総務課長

現時点では、キッチンカーを防災のために導入する予定はありません。

○議員

今後、原材料の大部分を占めるジャガイモを飛鳥村で生産できれば、ふるさと納税の返礼品になり、しかもそれを減農薬で育てられれば、子どもたちの給食で提供することがができる。おいしくて健康にも良いものを特産品として開発していただければと思う。



飛鳥村特産のネギ

Q 買い物不便者の 対応を どうお考えか

A 総合計画に記載し、 対応を検討する

○議員

2025年、4人に1人が後期高齢者となり、運転免許証返納者の増加が予想される。

本村の中で、公共交通機関が停車する場所にある生鮮食料品店、生活に必要な日用品店は今後重要になってくる。先を踏まえ、どうお考えでしょうか。

○村長

第5次飛鳥村総合計画の中で、高齢者の皆さまの買い物支援については特に重要な課題と捉え、村内で基本的な買い物ができるような仕組みを検討していきます。



小川政徳 議員

Q 防犯、交通安全対策は

A 刑法犯の発生件数が減少している

○議員
通学路の安心安全を得るための機能は十分なのか。生徒が朝夕に通るおよそ1kmの通学路を映すカメラが1台も設置されていないが。

○村長
防犯カメラの設置箇所は全通学路を網羅しておりませんが、十分とは言えません。事件解決のため提供する画像データとしては機能していると考えています。

○議員
空き巣や不審者情報を多く聞くが、カメラの活用実績や事件解決に結びついた事例などの報告は。

○議員
安心安全カメラ(防犯カメラ)が設置されてから、村内の安心安全対策防犯機能は向上したのか。

○村長
刑法犯の発生件数は、防犯カメラ設置後減少しており、一定の効果があるものと考えています。

○村長
警察からの結果報告は、捜査関係上報告いただけないものとなっています。

○議員
来期以降のカメラ増設計画は。

○村長
令和5年度は、各地区から要望をいただいた箇所を警察と協議し、効果の高い箇所へ設置するための予算をお願いする予定です。その後については、住民ニーズや費用対効果を踏まえて検討します。



村内の防犯カメラ

Q 防災、避難対策は

A 住民のできる支援をお願いします

○村長
組織は、民生委員や自主防災組織、区長、消防団などを想定しています。組織以外でも避難した住民の協力をお願いしたいと思います。活動については、災害の状況把握していただき、できる支援をお願いしたいと考えています。

○議員
体の不自由な避難者を救助や避難行動を補助、誘導する組織はあるのか。また、どこまで活動する設定があるのか。

○議員
東日本大震災の教訓を踏まえて、避難行動支援者、誘導者や防災関係機関への安全確保に関するマニュアル等の作成状況は。

○村長
避難誘導のマニュアルについては、内閣府や愛知県が作成しているマニュアルなどを活用し、消防団に対しては、「地震災害(津波時)における消防団活動マニュアル」を平成26年に作成し運用しています。



防犯カメラに映らない通学路

Q コロナ禍不遇世代への支援を

A 今後の感染状況を見極めながら判断していく

○議員
教育支援事業のリモート通信授業支援給付金の継続は。

○村長
給付金については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら判断していきたいと考えています。

○議員
次年度の海外派遣事業の展望は。

○村長
子どもたちの安全確保に注意しながら事業を継続したいと考えています。



伊藤 豊 議員

Q 放課後学習支援

A タブレットを活用した個別学習の充実を図る

が確保できない中学生を

中心とした子どもに、学

校の空き教室や地域の空

き店舗など、ボランティア

の学生や元教師など地

域の人材も活用して、放

課後に学習時間と場所を

提供するものです。

飛鳥村の未来を担う人

づくりのために、放課後

学習支援も必要かと思っ

ますが、本村の考えを伺

います。

○村長

飛鳥村が主体となる放

課後学習支援については、

教室の場所や指導者、開

催時期、対象とする生徒

など、多くの課題があり

ますので、現時点では考

えておりません。

放課後学習支援は、経

済的な理由や家庭の事情

により、十分な勉強時間

○議員

児童館の図書室の雰

気は。

○民生部長

児童館は、健全な遊び

の場を提供する目的の施

設となりますので、集中

して学習できる雰囲気と

は言い難い状況です。

○議員

飛鳥学園の学習場所の

提供は。

○教育部長

学園において、現時点

では行っていないですが、

社会教育としての英語教

室は、公民館で行ってい

ます。

○議員

教育長の学習支援につ

いての考えは。

○教育長

生徒に学力をつけるこ

とは、教員にとって一番

の仕事だと考えています。

現在も生徒が登校してか

ら下校するまでの時間の

中で、さまざまな工夫を

行い、個別指導や教育相

談などの学習支援を行っ

児童館の図書室



Q コロナ禍による健康寿命への影響

A コロナ禍を理由とする影響は不明

○議員

健康寿命とは「健康上

の問題で日常生活が制限

されることなく生活でき

る期間」のことです。健

康寿命は、住民の幸福・

公共の福祉の増進とも密

接に関連するものであり、

コロナ禍によつて健康寿

命がどの程度害されたか

を明らかにすることは重

要なことです。

そこで、コロナ禍での

行動制限が健康寿命にど

の程度の影響を与えたか、

健康寿命に対する影響を

どう判断しているか、本

村の考えを伺います。

○村長

国からコロナ禍の健康

寿命に関する報告はあり

ません。そのため、コロ

ナ禍を理由とする健康寿

命への影響は不明です。

本村はコロナ対策を講

じて、すこやかセンター

や敬老センターを開館

し、健康診断や運動実践

室、老人クラブの例会な

ど、多数の事業やイベン

トを実施して得られた

データや会話の機会を利

用し、住民に助言・指導

を行っています。

○議員

運動不足解消や社会参

加という意味で具体的に

行っている事業は。

○保健環境課長

一例として、高齢者向

け「シルバークラブ」な

ス」や、世代を問わない

「歩歩歩(さんぽ)クラブ

めざましウォーク」など

を開催し、運動不足解消

と交流の場を提供してい

ます。



上田光彦 議員

Q 教育長に施策を聞く 教員の働き方改革は

A 地域とともに学校づくりを 進めていきたい

をたくましく生き抜く力」

の育成を目指しています。

地域に開かれた学校で
ありたいと願っています

ので、本村の強みである

地域の教育力をいただき

ながら、生徒の健全育成
に対し、学校・行政・地

域・保護者で連携し、協

働することにより「地域

とともにある学校づくり」
を進めていきたいと考え

ています。

○議員

飛鳥学園では部活動の
顧問は外部委託にするべ

きと考えるが。

○教育長

令和6年度には、運動

部活動の地域移行が試行

できることを目指します。

○議員

教員にとって、部活動

の顧問の体制は負担に

なっていないのか。

○教育長

先生方に希望を聞き、

複数顧問制で1人に負担

がかからない体制でお願

いしています。

○議員

引き続き部活動をやり

たい教員は、どのように

行っていくのか。

飛鳥学園アリーナ



Q 避難所のペットの 受け入れ体制は

A ペットと 同行避難ができます

○議員

避難所に避難する際に、

ペットと一緒にスペース

に寝泊まりする同伴避難

が望ましいと考えるが、

受け入れはできないのか。

○村長

災害時には、ペットと

一緒に避難する同行避難

ができると思っています。

現状では、周りの方に配

慮した飼育管理として、

避難施設外でのお願いと

なります。

○議員

ペットと一緒に過ごせ

ないため、避難を諦める

ケースがあると考えます。

ペットが避難できる場所

は。

○総務課長

ペットの避難場所は、

1階の軒下のピロティま

たは屋上となります。

○議員

浸水時や風雨時には屋

内に避難するルールを作

る必要があると考えるが、

その際の避難スペースな

どの整備を進めてくださ

い。

飛鳥学園の生徒たちと

ペットとの同行、同伴避

難宿泊体験をしてはどう

か。

○村長

避難スペースの確保な

どを考慮した上で参加者

を募り、実施させていた

だいたいと考えます。

○議員

令和2年に義務教育学

校飛鳥学園となったが、

教育長としての施策は。

○教育長

教職員全員で「9年間

で生徒を育てる意識」を

さらに強く持ち、「未来



萩野登記代 教育長



ペットは家族です



鈴木康祐 議員

Q 通学の見守りは

A 今後も安全の確保を図る

○議員

集団登下校時の交差点での横断の際に、シルバーさんが安全確認をして、横断歩道前で車両を止める行為がいけないと蟹江警察署から指摘されました。

○村長
生徒の通学の安全については、生徒自身が「自分の身は自分で守る」という交通安全に対しての意識を高めるよう学年や学級で繰り返し指導をしています。また、PTAや学園のスクールガードの方に、見守りの強化をお願いしました。

るのか、不安な思いで見守るしかない」とシルバーさんの声を聞きます。どのよう子どもたちの安全を守り指導するのか、今後の方針をお聞かせください。

○議員
今後は、交差点付近で立っていることしかできず、横断歩道前で待つていても止まらない車両があり、いつ事故が起こるのか、不安な思いで見守るしかない」とシルバーさんの声を聞きます。どのよう子どもたちの安全を守り指導するのか、今後の方針をお聞かせください。

Q 県道境政成新田蟹江線の拡幅、歩道設置の進捗状況は

A 条件の整ったところから整備していただけるよう要望している

○議員

県道境政成新田蟹江線の服岡地内の歩道は、一部を除いて整備されてきたが、その後の計画はどうなっているのですか。



通学時の飛鳥学園の生徒

○議員
県道であるこの路線は、国際海上コンテナ用セミトレーラやバン型セミトレーラが頻繁に通過し、歩行者や自転車が安全に通れる道路ではありません。早急に歩道設置をお願いしたいのですが、県はどのように計画されているのでしょうか。できることから整備を強く要望していただきたい。

○村長

道路管理者である愛知県に、拡幅および歩道設置について、毎年要望させていただいております。県からは、服岡地内の用地買収の交渉をされていると聞いています。用地買収が整ったところから順次整備していただけるよう要望し、併せて、通学路合同点検において、交番前の歩道がつながっておらず危険と思われるため、こちらについても早急な整備を要望しました。

Q 水道の基本料金の補助はできないのか

A 広く活用できる事業を実施している

○議員

令和4年11月30日の海部南部水道企業団議会において、愛西市と弥富市が官公庁を除く水道の基本料金を無料にするため、それぞれの市の財政から繰り入れをする議案が上程され、可決されました。

○議員
今後の計画として、国道23号から北側の歩道整備も地区からの要望として伺っていますので、改めて県に要望させていただきます。

○村長

愛西市と弥富市の補助は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として事業化したものです。飛鳥村は、その臨時交付金を活用し、独自事業として18歳以下の家庭へ「子育て支援給付金」の支給や全世帯へ「物価高騰対策商品券」を交付させていただきました。水道料金以外に広くご利用いただいているところです。村内の店舗でご利用いただくことで、事業者の経済効果も期待される事業となっています。このことから、水道料金の補助については、現時点では考えておりません。



橋本 渉 議員

Q 多くの人が就学支援制度を受けやすくせよ

A 制度を分かりやすくしていく

基準を作らず進めてきました。しかし、その結果、受給率は県下最低の2.1%です。基準を作つて受けやすくすべきです。村は独自の制度として、大学生へ奨学金制度を作り、月2万5千円の援助をしています。村民税所得割額が10万円以下の方が対象です。就学援助制度もこの基準で実施すべきです。

○村長
就学支援制度について、他の自治体のように所得基準を作成し、収入の上限や目安を定めることも1つの方法であると考えていますが、本村では、就学援助の案内を全ての保護者に配布をした上で、各家庭の実情に合わせて審査することが有用であると考え、所得基準を作成しておりませんでした。今後は、制度を分かりやすくするという観点から、他の市町村の状況を踏まえて、所得基準の作成に向けて慎重に進めていきたいと考えています。

○議員
補聴器の補助制度は他の自治体でも徐々に始まっています。この地域では稲沢市が3万円の補助を出しています。高齢者が難聴になると、人との付き合いが減り、精神的にも身体的にも衰え、鬱や認知症の懸念も出てきます。高齢者の健康づくりのために、雑音が入りにくく、装着しやすい性能の良いものが買えるように、高い補助金を出してほしいです。

○村長
高齢者への補聴器補助制度について、海部管内で実施している例はありませんが、県内で3市町実施していることは把握しています。しかしながら、現状の補助実績は少なく、認知機能の低下予防と補聴器の関連性についても引き続き注視する必要がありますので、まずは必要な情報収集に努めたいと考えています。

○議員
就学支援制度は今まで実施してききましたが、基準がないため、あまり受けられていませんでした。村は幅広く多くの人に受けていただくために、



通学中の飛鳥学園の生徒

Q 高齢者の補聴器購入に補助せよ

A 情報収集に努める



一般質問の録画映像を配信しています

議会閉会后約2週間後から、一般質問の録画映像をご覧ください。
また、議会の詳しい内容は、村公式ホームページ、図書館に備えてある会議録をご覧ください。

<https://www.vill.tobishima.aichi.jp>





伊藤秀樹 議員

Q 飛島で生まれ育った子どもが飛島に住めるのか

A 制限が多いことは認識しており、引き続き検討する

○議員
飛島で生まれ育った子どもが将来、飛島に住めるような長期的な計画はあるか。
村の取り組みだけでは解決が難しい課題となりますので、引き続き検討していきます。

○村長
計画については、住民の皆さまが魅力を感じ、住み続けていただける村づくりを進めます。
新たに家を建てることは、法律上の制限が多いことも認識しています。

Q 通学交通費の補助を求む

A 学生の通学費は家庭で負担を

○議員
高校入学など3月、4月は出費が多いので通学定期券の補助はできないか。

○村長
多くの公共交通機関が学生割引を実施しており、学生の生活様式によって補助額が異なるため、必要性および公平性の観点から難しいと考えます。

Q 学園の制服を見直す予定はあるのか

A 生徒や保護者の意向を確認していく

○議員
制服をブレザー等に移行している学校が見受けられるが、飛島学園においても制服を見直す予定はあるのか。

○教育長
学園と相談しながら、生徒や保護者にアンケートを実施する準備をしています。

○議員
保護者や関係者に説明し理解を得て実施願います。



飛島学園の生徒が使用しているタブレット

Q 家庭でリモート授業が受けられるか

A 家庭に持ち帰ったタブレットで実施した

○議員
タブレット端末を持ち帰らずに、家庭のパソコンではできないか。

○村長
安全性について確認し、議員に説明させていただきます。

○議員
できることから始め、前向きに検討することを要望します。

Q 高齢者の買い物支援策は？シニアカーに補助を

A 買い物支援策の周知に努め、シニアカー助成は今後議論を進める。

○議員
買い物支援策は良いことなので宣伝すべきである。また、自由に移動する手段として、シニアカー購入に補助金を設けてはどうか。

○村長
高齢者の買い物手段として実施している事業は、今後ますます重要になりますので、宣伝・周知に努め、利便性向上を図りたいと考えております。
シニアカー等の購入費助成制度についても、今後ニーズや安全性などの議論を進めた上で判断してまいります。



八木敏一 議員

Q 補助金行政を問う

A 公益上必要がある団体へ補助する

の予算要求をした団体数と、その予算総額をお尋ねします。

併せて、団体補助金で、一番多く補助金要求をした団体名と予算総額もお尋ねします。

○村長
地方自治法の規定により、公益上必要がある場合は補助することができ、本村では、補助目的を達成できる団体へ補助しています。

○議員
村として、団体に補助金を出す根拠は、どこにあるのか。どういう団体が対象になるのか。

また、令和4年度一般会計で、100万円以上

100万円以上の支出を予定している団体は、約30団体に約5億2700万円の予算をお認めいただいています。
その中で一番多く予算要求した事業は、飛鳥村地域公共交通活性化

再生法定協議会への1億5939万円です。

○議員
地域公共交通活性化再生法定協議会において、約1億6千万円の補助金は、何に使われるのか。

○企画課長
法定協議会の補助金は、主に飛鳥公共交通バスの運営費に支出されています。

○議員
法定協議会の約1億6千万円の補助金は、村民等の足として使われているが、妥当な金額なのか、どう考えているか。

○企画課長

金額については、運営事業者である三重交通(株)の運行経費を常に精査しており、当然ながら不要不急の予算執行はしておりません。住民の皆さま、企業にお勤めの皆さまの移動手段を確保するために妥当な金額と考えています。

○議員

法定協議会の補助金約1億6千万円は、多額であるが、村民等の足として必要経費であり、本村が存続していく上での村づくりの主要な義務費である。



移動手段として使われている飛鳥バス

Q 教育行政を問う

A 誰もが輝く、人づくりに取り組む

○議員
萩野教育長は、令和4年10月に就任されました。そこで、本村の教育行政について、教育長の所信をお尋ねします。

また、2020年4月から義務教育学校が始まりました。この学校の「教育課程」は、何を使っているのか。

○教育長

「活気づくり・魅力づくり・人づくりの村」を合言葉に、「生き抜く力」を育む学校教育や「生きがい」を大切に、あらゆる世代・住民が活躍できる生涯学習・生涯スポーツを充実させます。

飛鳥村で生まれてよかった、飛鳥村で育ってよかった、飛鳥村で学べてよかった、そんな声が



飛鳥学園

聞かれるよう、住民の皆さまに支えられながら、子どもから大人まで誰もが輝く「人づくり」に全力で取り組みます。

義務教育学校の教育課程については、海部管内で作成された教育課程をベースとして、必要に応じて組み替えたり、新たな内容を加え、小中一貫教育を意識した授業づくりや活動を行っています。